

第34回くまもと車いすふれあいジョギング大会報告

事務局

今年で34回を数える「くまもと車いすふれあいジョギング大会」が10月8日（体育の日）に開催されました。

今回は、開閉式会場が菊陽町図書館ホールになり、参加選手にとってもボランティアのみなさんにとっても、天候に左右されない快適な会場となりました。

当日は、体育の日に相応しく晴天で、屋外スポーツには絶好のコンディションでした。欲を言うと少し暑すぎた気もしました。

競技は、生活用車いす1km・3kmの部と競技用車いす4.5kmの部（競技用車いす使用者）の3種目に、県内外から126人が出場しました。

この大会は、日頃外出したり屋外でスポーツを楽しんだりする機会の少ない、重度の障がい者（電動車いす・足けり車いすなど）の皆さんが出場できる、数少ないロード大会です。

出場する選手には、リハビリテーションなどを学ぶ学生ボランティアのみなさんが、選手付きサポーターとして一選手に一名がつき、選手たちのサポーターとして、準備の手伝いをしながら和やかに交流し、中には一緒にジョギングも楽しむサポーターさんもいました。



ゴールした後は、みんなでだご汁を食べながら、熊本で人気のタレント大田黒浩一さんのトークショーで爆笑する場面もありました。競技で疲れた体と気持ちを笑いが癒やしているようでした。

最後は、恒例の抽選会が行なわれ、当選者たちの明るい歓声と外れた選手の残念な声で会場は盛り上がりました。遠方の佐賀県・福岡県・大分県から参加された選手にも抽選が当たり喜んでいただきました。

この大会には、九州パラ陸上競技協会も協力として大会の運営に関わっています。今年は、競技用（レーサー）の部4.5kmに26名の参加がありましたが、常用車いすで参加できますし、当協会会員以外でも参加できるオープンの大会です。是非、お知り合いの方へのご紹介やお誘いをお願いします。

